



1/1
報道関係者各位

2013年9月27日

東京都港区赤坂4-1-31 アカネビル5階
株式会社パシフィカ・キャピタル

パシフィカ・キャピタル、茨城県にメガソーラー開発計画

ソーラー開発事業及び不動産事業を手掛ける株式会社パシフィカ・キャピタルは、2013年9月25日、メガソーラー第1号案件の用地を取得いたしました。用地は、茨城県常陸大宮市に所在し、敷地面積は47,239㎡。パシフィカ・キャピタルが設立した特別目的会社が所有者となり、メガソーラー事業の開発を進めてまいります。

敷地は、2012年3月に閉校した県立山方商業高校の跡地で、解体工事完了後、パネル設置工事に着手、2014年8月に竣工予定です。平成24年度の固定買取価格単価42円/kWhを確保済みで、発電所出力容量は2,909kWpを想定しています。

パシフィカ・キャピタルの代表取締役セス・サルキンは、今後のメガソーラー事業については、次のとおり見解を示しています。「弊社は、現在、平成25年度の買取価格条件のメガソーラー開発案件ならびに、第三者が立ち上げたプロジェクトの取得も、積極的に検討しています。

日本における太陽光発電事業は、他国と比較すればまだまだ発展途上で多くの課題に取り組まなければなりません。弊社は、長年培ってきた不動産開発や資金調達ノウハウを活かすことができ、そこが大きな強みであると考えています」

1995年、前身のパシフィカ・コーポレーションとして設立以来、パシフィカ・キャピタルは東京並びに主要国内都市で商業系物件の投資・開発・運営に携わってまいりました。平成24年7月1日に「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の導入以後パシフィカ・キャピタルは、ソーラー事業チームを組成し、現在中～大規模のメガソーラー事業の開発を更に進めています。

本件に関するお問い合わせ: セス・サルキン Seth.Sulkin@pacificacap.com

ソーラー事業用候補地のご紹介連絡先: 有馬俊一郎 shun@pacificacap.com